令和５年１１月２４日
【 文部科学省 】

【概要書】

国立研究開発法人科学技術振興機構
令和４年度特定公募型研究開発業務
（創発的研究）に関する報告書及び
同報告書に付する文部科学大臣の意見

標記の報告書を衆議院議長に提出いたしました。

連絡先は省略。

令和４年度「特定公募型研究開発業務（創発的研究）」に関する国会報告の概要

（基金の執行状況及び管理状況）

○　特定の課題や短期目標を設定せず、多様性と融合によって破壊的なイノベーションにつながるシーズ創出を目指す創発的研究を実施するため、「創発的研究支援事業」について、令和４年度当初予算及び補正予算により554億円を追加造成。

○　更に、我が国の優秀な志ある博士後期課程学生への経済的支援を強化し、また、博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスの整備を進めるため、「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」及び「次世代研究者挑戦的研究プログラム」を一体化して実施する「博士後期課程学生の処遇向上と研究環境確保」について、令和４年度当初予算により33億円を追加造成。

○　令和４年度は、「創発的研究支援事業」における採択した研究者に対する支援、研究提案募集及び審査等を行うため55億円を支出。
　また、「博士後期課程学生の処遇向上と研究環境確保」における外部有識者からなる委員会の運営経費、公募及び審査の実施並びに採択されたプロジェクトに対する支援等を行うため、204億円を支出。

○　基金の残額1,432億円※（令和４年度末現在）は令和５年度以降の研究費等に充当予定。
※　「創発的研究支援事業」における残額は1,155億円、「博士後期課程学生の処遇向上と研究環境確保」における残額は277億円であり、計1,432億円

（文部科学大臣の意見案の概要）

○　透明性・公正性に十分留意したものであり、適正であったと認められる。

○　「創発的研究支援事業」については、引き続き挑戦的な研究を採択するとともに、事業の定常化も見据えた充実を図りつつ、事業を着実に推進することが必要である。

○　「博士後期課程学生の処遇向上と研究環境確保」については、我が国の優秀な志ある博士後期課程学生への支援を一層効果的に実施するために、「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」及び「次世代研究者挑戦的研究プログラム」を一体的に運用し、事業を着実に推進することが必要である。

○　基金の管理については、科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律第27条の２第３項の規定に基づき、安全性の確保を最優先に、収益性の向上にも配慮した適切な運用が図られた。